

小学校

s 4-3

小数

4 学年

(1/100 の位・1/1000 の位)

【ねらい】

小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的大きさについての理解を深める。

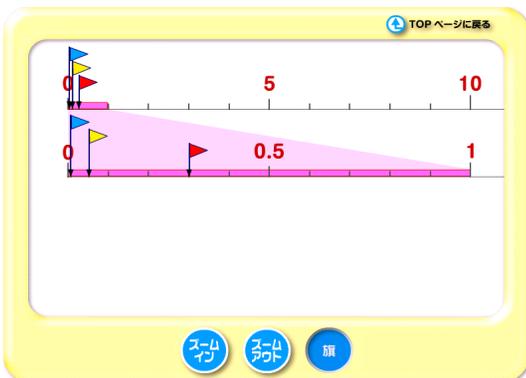
【特徴】

- ◇ クリックごとに、目盛りが拡大され、1/10、1/100、1/1000 の位を確認できます。
- ◇ 旗を立てることで、その位置を表すために1より小さな位の必要性が実感できます。

【関連する単元】

- ◇ 小学 5 年「小数と整数」

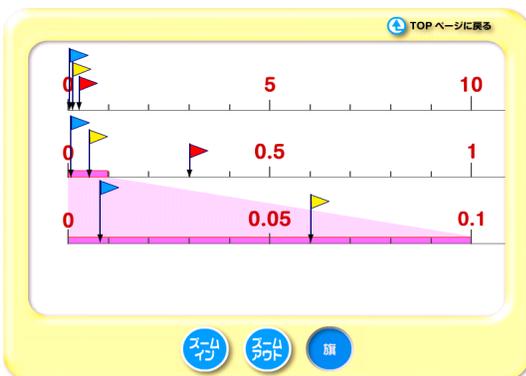
【活用場面】 導入段階の課題提示



1より小さい端の数を表す際の理解に活用できます

数直線の目盛りを拡大することにより、0と1の間をさらに10等分して表せばよいことを理解させることができます。

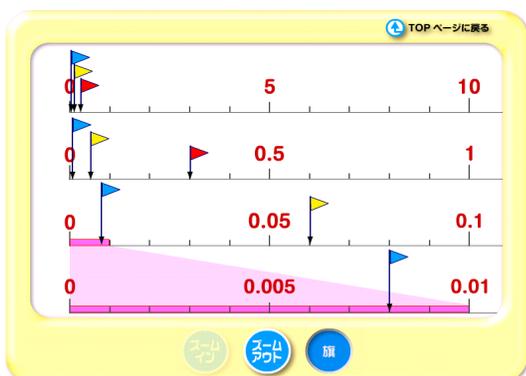
- ◇ 1より小さい位置に旗を立て、このままの数直線の目盛りでは表しきれない場面を設定し、児童に解決方法を考えさせます。
- ◇ 0から1の間を10等分すればよいことに気付かせます。
- ◇ ズームすることにより1/10の位の目盛りを表示し、赤い旗の位置は表せるが、黄色と青い旗は表せないオープンエンドの状況で次の課題につなげます。



1/100の位の必要性と理解に活用できます

数直線上の黄色い旗と青い旗の位置を表すためには、さらに0と0.1の間を10等分する必要があることに気付かせることができます。

- ◇ 赤い旗の位置を表した方法から類推して、0と1の間をさらに10等分すればよいことに気付かせます。
- ◇ 0と0.1の間を10等分した1つは、1/100の位であることを理解させます。
- ◇ ズームすることにより1/100の位の目盛りを表示し、黄色い旗の位置は表せるが青い旗は表せないオープンエンドの状況で次の課題につなげます。



1/1000の位の必要性と理解に活用できます

数直線上に最後まで残った青い旗の位置を表すためには、0と0.01の間をさらに10等分する必要があることに気付かせることができます。

- ◇ これまでの学習から、さらに目盛りを10等分すればよいことに気付かせます。
- ◇ 0と0.01の間を10等分した1つは、1/1000の位であることを理解させます。
- ◇ ズームすることにより1/1000の位の目盛りを表示し、青い旗の位置をよませます。
- ◇ 小数も十進構造になっていることをおさえます。